

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013001	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2K(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2K(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumura nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス 共用校舎2 一階(総合体育館裏)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	世界遺産に指定されている文化遺産と自然遺産に焦点を当て、DVDを見ながら学習し、英語の総合力を高める。DVDのナレーションに含まれる世界遺産の歴史、地理、特色など様々な情報を理解するための語彙を習得し、Dictationによってリスニング力をつけ、ナレーションの英文を理解し、各unitのトピックについての会話練習も行う。Lacs掲示板にて英語で意見交換を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ナチュラルスピードの英語のリスニングに慣れる。</li> <li>2. 歴史、地理、世界遺産の特色に関する英語表現・語彙を習得する。</li> <li>3. 英語を「聞く・読む・話す」技能を高め、各unitの内容に関連するtopicについて英語で書いて表現することができるようになる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy    汎用的能力 / Generic Competence    倫理観 / Ethics    多様性の理解 / Understanding Diversity    協働性 / Cooperativeness    考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas    国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</li> <li>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives</li> <li>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills</li> <li>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</li> <li>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</li> <li>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</li> </ol>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. e-learning教材学習テスト40% (20%×2)</li> <li>2. 期末テスト 30%</li> <li>3. LACSでの課題提出12% (3%×4)</li> <li>4. 授業中の発表と取り組み 18%    合計100点のうち60点以上を合格とする</li> </ol>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-learning 自学自習(合計30時間)</li> <li>・ 予習: Dictation-Clozeの本文のCDを聞いて空欄を埋め、知らない単語の意味を調べ、意味のわからない箇所に下線を引くこと(30分/回)</li> <li>・ 復習: 授業後は学習した英語表現と語彙を習得するために復習を行ない、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと。Lacs掲示板にてクラスメートと英語にて意見交換すること(1時間/回)</li> </ul>		
キーワード/Keywords	World Heritage, DVD, Dictation, Reading, Dialog		
教科書・教材・参考書/Materials	Someya (2010), World Heritage on DVD, NAN ' UNDO		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	テキストに備わっている、DVDとCDを使って予習復習を必ず行うこと。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	世界遺産の歴史的側面、文化的側面を楽しく学びながら、英語力を高めてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 4/13	授業のガイダンス、DVDを観る
2 4/20	Unit 1. Statue of Liberty
3 4/27	Unit 1. Statue of Liberty
4 5/11	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 1. Statue of Liberty
5 5/18	Unit 1. Statue of Liberty /Unit 4. Canadian Rockies, Canada
6 5/25	Unit 4. Canadian Rockies, Canada
7 6/1	Unit 4. Canadian Rockies, Canada
8 6/8	Unit 4. Canadian Rockies, Canada /Unit 5. The Pyramids, Egypt
9 6/15	Unit 5. The Pyramids, Egypt
10 6/22	Unit 5. The Pyramids, Egypt
11 6/29	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 5. The Pyramids, Egypt / Unit 8. Machu Picchu, Peru
12 7/6	Unit 8. Machu Picchu, Peru
13 7/13	Unit 8. Machu Picchu, Peru
14 7/20	Unit 8. Machu Picchu, Peru/ Unit 10. Te Wahipounamu, New Aealand
15 7/27	Unit 10. Te Wahipounamu, New Aealand
16 8/3	期末試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013002	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2K(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2K(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn hotmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本授業では、大学や社会で必要とされる英語の基礎能力の習得を目指します。英語は、世界とつながるための有効なツールです。今後、英語を使えるようになると、あなたの世界はグローバル単位で大きく広がりますし、職業上でも様々なチャンスを得られる機会が増えることでしょう。本授業では、皆さんになかなか機会のない英語の「話す」「書く」のアウトプットの能力の向上を目指す活動に慣れ親しんでもらい、これまでの「知識としての英語」から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけてもらうことを目指します。</p> <p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、ほぼ毎レッスンLACSを使って内容理解確認小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにネイティブスピーカーの生活圏にある素材を用いた教材、洋画(DVD視聴)を使用し、Readers' theater (朗読劇)などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつなぎ方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めていきます。</p> <p>(1) LACSによる内容理解確認小テスト</p> <p>(2) テキストを使用した演習(ペアワーク、グループワーク、Readers' theater等の活動、あるいは配布物による学習を含む)</p> <p>(3) 3分間英語のみで会話</p> <p>(4) 洋画視聴(5~10分程度)</p> <p>提出されたグループワーク等は、添削評価して返却します(パフォーマンス課題には、ループリッックを準備)。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できる。</p> <p>(2) 与えられた写真(あるいは絵)を見て的確に英語で表現することができる。</p> <p>(3) やや簡易な会話を聞いて要約できる。</p> <p>(4) その会話の和訳を英訳できる。</p> <p>(5) 与えられたトピックについて3分間英語で会話を続けることができる。</p> <p>(6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容をある程度理解することができる。</p> <p>(7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習し、ネイティブにより近い発音で音読できる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		

学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	20%定期試験、40%授業への取り組み(授業への積極的な姿勢10%、内容理解確認小テストx12回/20%、提出課題4%、グループワーク及びReaders' theater 6%)、40%e-learning教材学習テスト(20% x 2回:3 Step Call System, Power Wordsより)を総合的に判断します。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・e-learning 自主学習(合計30時間程度) ・予習:事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、またLACSによる小テスト(12回実施予定)にむけた学習(1時間/回) ・復習:教科書(の中の会話文は、口からついて出てくる程度音読の練習をすること)やプリント(毎レッスン視聴する洋画の字幕等)を再読し、新しい単語、表現は確実に調べ、理解が不十分な点については質問できるように整理しておくこと(1時間/回)
キーワード/Keywords	リピーティング、ディクテーション、音読
教科書・教材・参考書/Materials	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 3 Student's Book B with Online Self-study』 Cambridge University Press - ISBN:978-1-108-55982-9を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語でコミュニケーションができると世界(チャンス)が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(4/13)	第1回のオリエンテーションの授業では、授業で扱う内容や学習方法、評価方法などを説明します。授業は、演習形式で行います。授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワークを通して出来る限りアウトプット能力を高めるためにスピーキング&ライティングなどの機会を設けます。特にスピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater(朗読劇)などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。またスピーキングの弱点を克服するために、自分の会話を録音して接続表現、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキストの予習、復習を十分にして授業に臨んで下さい。また本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価40%)。 *(G/W) Group workの省略 オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)
第2回(4/20)	テキスト Relationships
第3回(4/27)	Relationships *(G/W) , e-learning復習他
第4回(5/11)	1回目e-learning 教材学習テスト(3step, Power words), Relationships
第5回(5/18)	Relationships
第6回(5/25)	テキスト Environment
第7回(6/1)	Readers' theater (G/W)
第8回(6/8)	Environment
第9回(6/15)	Environment (G/W)
第10回(6/22)	Environment, e-learning 復習他

第11回 (6/29)	2回目e-learning 教材学習テスト(3step, Power words), テキスト On Vacation,
第12回 (7/6)	On Vacation (G/W) / Readers' theater
第13回 (7/13)	On Vacation
第14回 (7/20)	On Vacation, Review
第15回 (7/27)	Review
第16回 (8/3)	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013003	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2K(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2K(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は、環境、技術、医療、経済など、多岐にわたる分野の最新の動向やそれに伴う課題などを扱う英文記事を通して、世界の現状についての知見を広げると同時に、読解力向上のため、TOEIC形式の文法問題に取り組みます。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができる。 2. 社会の多様性が理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認小テスト (2点 x 10 = 20点) + 定期試験 40点 + e-learning教材学習テスト 40点		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30時間) <予習>教科書の該当範囲について事前に読んでおくこと (2h/回) <復習>講義内容及び講義資料をもとに復習すること (2h/回)		
キーワード/Keywords	CNN, BBC, ABCnews, The Asahi Shinbun, The Japan News, Reuters,		
教科書・教材・参考書/Materials	SOCIAL OUTLOOK - メディア英語で社会を視る (三修社) 1,700円+税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は必ず予習をして臨んで下さい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Introduction
2	Chapter 1: Students develop 'gacha-gacha' rice vending machine in Yamagata
3	Chapter 1 復習小テスト Chapter 2: Scientists take aim at plastic with wood-based straws and more
4	e-learning教材学習テスト1回目 Chapter3: Calls for multilingual alert systems grow in Japan as visitors crowd mass transport
5	Chapter 3 復習小テスト Chapter 4: Aston Martin unveils 'sports car for the skies' at airshow
6	Chapter4 復習小テスト Chapter5: New satellite-based system eyed for disaster prediction
7	Chapter 5 復習小テスト Chapter 6: Johannesburg wildlife clinic saves animals hurt in city
8	Chapter6 復習小テスト Chapter7: Active 97-year-old manga artist inspires younger creators
9	Chapter 7 復習小テスト Chapter 8: Japan, India to train trauma surgeons
10	Chapter 8 復習小テスト Chapter 9: Demand for non-Japanese engineers is growing
11	e-learning教材学習テスト2回目 Chapter 10: Flies can solve the global food crisis, says researcher
12	Chapter 10 復習小テスト Chapter11: Doctor helps problem gamers looking to hit reset button
13	Chapter 11 復習小テスト Chapter 12: How do we remember memories we have forgotten?
14	Chapter 12 復習小テスト Chapter 13: High-altitude balloons to deliver internet access in Kenya
15	Chapter 14: Zombie, creepy tooth fairy scare Saga children to brush their teeth 総復習
16	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013004	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟3F パソコン室 / SGHSS PC Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英1)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月3 水2 木4		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	まず、授業時に任意で指定したニュース教材を、必要な情報を探しながら、英文をはやく正確に読む練習を行う。授業中に読んだ教材は、細部までの詳細な読みを課題として自宅で行い、翌週確認作業を行う。教科書の中で、授業時に指定した構文や表現は、必ず身に付けてもらう。また、Business English より Flu の話を取り上げ、英語での話題トークに関して4技能からの指導を行う。		
授業到達目標 / Course goals	1) 医学、健康、環境の話題をとりあげたCD教材を聞いて、必要な情報を聞き取り、使われた重要な表現を使えるようになる。 2) 様々なテーマを扱った英文を読んで、必要な情報を見つけ、英文の内容を90%理解することができる。 3) 学習して教材を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。 4) 他のスピーカーのプレゼン内容へのコメントや意見交換ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験40%、 e-learning教材学習テスト40%、プレゼンペーパー等の提出物10%、授業でのアクティビティ、小テスト 10% で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 毎回課せられるプリント教材の精読。(1時間/回) 小テストのための学習。(1時間/回)		
キーワード / Keywords	Repeating, Pair Work, Listening Strategies, Scanning, Skimming		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書(テキスト): The Picture of Health (南雲堂) ¥1,700		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning教材（3 Step やパワーワーク）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Reading（テキストUnit 1）
第2回	Power Words Unit 1~ Unit 10 小テスト Reading（テキストUnit 1）
第3回	Power Words Unit 11~ Unit 20 小テスト Reading（テキストUnit 2） Flu Season（1）
第4回	e-learning教材学習テスト第1回目 Reading（テキストUnit 3）
第5回	Reading（テキストUnit 4） Flu Season（1）
第6回	Reading（テキストUnit 5） Flu Season（2）
第7回	Power Words Unit 21~ Unit 30 小テスト Reading（テキストUnit 6） Flu Season（2）
第8回	Reading（テキストUnit 7） Flu Season（3）
第9回	Power Words Unit 31~ Unit 40 小テスト Reading（テキストUnit 8） Flu Season（3）
第10回	Power Words Unit 41~ Unit 50 小テスト Reading（テキストUnit 9） Flu Season（4）
第11回	e-learning教材学習テスト第2回目 Reading（テキストUnit 10）
第12回	Reading（テキストUnit 11） Flu Season（4）
第13回	Reading（テキストUnit 12） Flu Season（5）
第14回	テキスト教材を用いたプレゼン作成。 Flu Season（5）
第15回	テキスト教材を用いたグループワーク、プレゼンテーション代表者コンテスト Flu Season 復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013005	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noribei07142007 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	noribei07142007 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	最新の話題、新聞記事、ジャーナル、ブログ、インタビューなど様々な文章スタイルを読みこなしながら、語彙力の強化とともに、読解力向上に役立つReading Fluency の習得に努める。		
授業到達目標/Course goals	(1) TOEIC500~550程度の読解問題を解くことができる。 (2) 語彙力の強化により、内容を的確に把握し、読解のスピードを上げる。 (3) Reading Strategyを使いながら、システムティックに読解力の向上を目指す。 (4) Current news を読むことで、最新の時事に関心を深めることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト 40%、課題・小テスト等 10%、期末テスト 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	・ e-learning自学自習(合計30時間) ・ 事前に指定した教科書やプリントの予習を行うこと(1時間/回)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Active Skills for Reading 2		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction
第2回	Unit 1 Chapter 1 Reading the Passage
第3回	Unit 1 Chapter 1 Reading the Passage
第4回	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 1 Chapter 1 Reading and Vocabulary Comprehension
第5回	Unit 2 Chapter 2 Reading the Passage
第6回	Unit 2 Chapter 2 Reading the Passage
第7回	Unit 2 Chapter 2 Reading and Vocabulary Comprehension
第8回	Unit 5 Chapter 1 Reading the Passage
第9回	Unit 5 Chapter 1 Reading the Passage
第10回	Unit 5 Chapter 1 Reading and Vocabulary Comprehension
第11回	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 11 Chapter 2 Reading the Passage
第12回	Unit 11 Chapter 2 Reading the Passage
第13回	Unit 11 Chapter 2 Reading and Vocabulary Comprehension
第14回	Unit 12 Chapter 2 Reading the Passage
第15回	Unit 12 Chapter 2 Reading the Passage
第16回	The Final Exam

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013006	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayashida72 wesleyan.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	0957-26-1234(代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜2限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、能動的な学習方法を学び、英語の運用能力を向上させることを目的とします。様々な題材について多様な角度から意見を述べるため、ロールプレイやディスカッションを行います。また、メンバーと協働し説得力のあるプレゼンテーションを行う活動を通して、英語での発信力を鍛えます。		
授業到達目標/Course goals	この授業では次のことができるようになることを目標とします。 1. 様々なテーマについて、自分の意見を適切な英語表現を用いて伝えることができる。 2. グループ活動により互いの意見を尊重しながら協働活動を行うことができる。 3. 英語による情報収集とその整理方法を理解し実践することができる。 4. 的確な構造と表現を用いた英語によるプレゼンテーションを行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%)+ プレゼンテーション1(15%)+ プレゼンテーション2(15%)+エッセー課題(15%)+授業への姿勢(提出物を含む)(15%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	スピーキング活動で言えなかった表現を辞書などで調べる習慣をつけて下さい。興味のあるテーマに関して、英語での動画の視聴や雑誌や新聞に目を通し、様々な英語の音や表現に慣れ親しむようにして下さい。 e-learning 自学自習(合計30時間) プレゼンテーションのテーマに関して英語での情報を収集し、発表の準備を行う。(1時間以上/回)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	授業で資料・教材を配布します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ペア・グループ活動 プレゼンテーション学習（チーム決め・役割分担）
第2回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング）、 プレゼンテーション学習（テーマの選定）
第3回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング） プレゼンテーション学習（情報の収集）
第4回	e-learning教材学習テスト1回目 プレゼンテーション学習（アウトラインの作成1）
第5回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング） プレゼンテーション学習（アウトラインの作成2）
第6回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング） プレゼンテーション学習（内容作成1）
第7回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング） プレゼンテーション学習（内容作成2）
第8回	プレゼンテーション発表1
第9回	リスニング・リーディング・スピーキング活動 プレゼンテーション活動（チームを作る、テーマ2を決定する）
第10回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング） プレゼンテーション学習（情報の収集）
第11回	e-learning教材学習テスト2回目 プレゼンテーション活動（アウトラインの作成）
第12回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング） プレゼンテーション学習（内容作成1）
第13回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング） プレゼンテーション学習（内容作成2）
第14回	プレゼンテーション発表2
第15回	まとめと振り返り

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013007	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T(英4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana3 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	akinatsuhana3 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師控室 火曜日 12:00 ~ 13:00、金曜日 12:00 ~ 12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学生活のなかで身近に応用できる英語表現を学びながら英語の基礎力を培っていきます。また、生きた英語に慣れ親しみ、英語で情報を得ることを楽しむ授業です。		
授業到達目標/Course goals	(1) 新たに学んだ英語表現を日常生活の中で使えるようになる (2) 臆せずに英語で会話できるようになる (3) 英語で情報を得ることを楽しめる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning 教材学習テスト (40%) [1回目20% + 2回目20%] 授業参加度 (15%) 内容確認小テスト (25%) 期末試験 (20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自主学習 (合計30時間) 予習: 事前に指定した教科書やプリントの範囲の音読練習をして、次の授業のペア・グループワークで使えるようにしておくこと (1時間/回) 復習: 教科書やプリントを再読し、授業で学習した語彙・表現の小テストに向けての学習をしておくこと (1時間/回) そのほか: 予習・復習以外の指示された課題がある際に取り組むこと (1時間/回)		
キーワード / Keywords	英語4技能の修得		
教科書・教材・参考書 / Materials	"Campus English", Hiroko Nishikage, Masaaki Tamura, Leve Hanson, CENGAGE Learning		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	新たに学んだ英語表現を、間違いを恐れず使うことが大事です。参加型の授業ですので、皆さんの積極的な参加を期待しています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	有吉由紀・国際連合児童基金 (UNICEF) ガンビア共和国バンジュール事務所勤務 (2年間) ・国際機関での勤務経験に基づき、国際人としての教養を養うことを目的に、時事英語や実践的な英語表現を適宜授業に取り入れている。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
4月14日	オリエンテーション：授業概要と評価について説明します 大学2年生になった自身の自己紹介ができるようになります。	B
4月21日	教科書Unit 1と配布プリントの演習：学生生活に関する語彙・表現 挨拶をかわす時の多彩な英語表現を使えるようにします。	A B
4月28日	教科書Unit 2と配布プリントの演習：道案内の語彙・表現 キャンパス内の道案内ができるようにします。	A B
5月12日	1回目 e-learning 教材学習テスト	A B
5月19日	教科書Unit3と配布プリントの演習：学年暦に関する語彙・表現 英語音声の特徴を学び、音読・リスニングに役立つ学習法を紹介していきます。	A B
5月26日	教科書Unit5, 14と配布プリントの演習：アルバイトに関する語彙・表現 音声の特徴を学び、音読・リスニングに役立つ学習法を実践していきます。	A B
6月2日	教科書Unit6と配布プリントの演習：メールや手紙の書き方 英語でメールを書いてみます。	A B
6月9日	教科書Unit7-8と配布プリントの演習：一言日記と予定表の書き方 英語で日記や予定表を記入する語彙・表現を紹介していきます。	A B
6月16日	教科書Unit12と配布プリントの演習：成績や修得単位に関する語彙・表現	A B
6月23日	生きた英語を紹介し、その内容を一緒に学習していきます。	A B
6月30日	2回目 e-learning 教材学習テスト	A B
7月7日	生きた英語を紹介し、その内容を一緒に学習していきます。	A B
7月14日	生きた英語を紹介し、その内容を一緒に学習していきます。	A B
7月21日	生きた英語を紹介し、その内容を一緒に学習していきます。	A B
7月28日	総括	A B
8月4日	期末試験	A

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013008	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。) 注意:メールのマナー(ビジネスレター等)が守られている場合のみ、返信し、対応する。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」における学習成果を基に、高度なリスニング力とリーディング力を身につけるための勉強法を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	最終的な目標は、1)リスニングに対応できる語彙力・発音力のアップ、2)口語英語のスピード・イントネーション・リズム等に対応できるリスニング力・発音力の強化、3)長い英文をリスニングのスピードで読めるようになる、の3つであるが、本授業の到達目標は、受講者がこらら3つの目標を達成するための基礎的情報を得ることである。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	基本的に、e-learning教材学習テスト40%・課題30%・期末試験30%で総合的に評価するが、授業の進捗等により課題30%・期末試験30%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	1) e-learning自学学習: 合計30時間 2) 課題: 毎回2時間の課題が出される(ネット上のニュース等を見て、新しい単語や表現等を整理したり、内容に対して自分の意見をまとめる等)。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	課題は多いが、意欲的に取り組んで、英語の力をつけて欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	授業方針の説明・英語力診断テスト・授業関連アンケート
2回	多聴読プログラム1 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙1・センテンスディクテーション&リピーティング1・母音に関する類似音の発音
3回	多聴読プログラム2 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙2・センテンスディクテーション&リピーティング2・母音に関する類似音の識別
4回	e-learning教材学習テスト(1回目) 聴読プログラム3 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙3・センテンスディクテーション&リピーティング3・子音に関する類似音の発音
5回	多聴読プログラム4 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙4・センテンスディクテーション&リピーティング4・子音に関する類似音の識別
6回	第1回?第5回の授業の振り返り(フィードバック)・音楽と英語学習の関係についての講義・音楽教材の収集と情報交換
7回	多聴読プログラム5 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙1・センテンスディクテーション&オーバーラッピング1・音楽の中の類似音1
8回	多聴読プログラム6 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙2・センテンスディクテーション&オーバーラッピング2・音楽の中の類似音2
9回	多聴読プログラム7 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙3・センテンスディクテーション&オーバーラッピング3・音楽の中の類似音3
10回	多聴読プログラム8 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙4・センテンスディクテーション&オーバーラッピング4・音楽の中の類似音4
11回	e-learning教材学習テスト(2回目) 聴読プログラム9 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙1・教養番組のリーディング1・センテンスディクテーション&シャドーイング1・音楽の中の連続音1
12回	聴読プログラム10 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙2・教養番組のリーディング2・センテンスディクテーション&シャドーイング2・音楽の中の連続音2
13回	多聴読プログラム11 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙3・教養番組のリーディング3・センテンスディクテーション&シャドーイング3・音楽の中の連続音3
14回	多聴読プログラム12 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙4・教養番組のリーディング4・センテンスディクテーション&シャドーイング4・音楽の中の連続音4
15回	第7回, 第14回の授業の振り返り(フィードバック)・レポート作成上の留意点の確認
16回	学期末試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013009	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2F(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F(英1)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	fujiuchi tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-840-2000		
担当教員オフィスアワー / Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。		
授業到達目標 / Course goals	英語のテレビ放送を視聴理解することができるようになり、またその内容を説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	全て主教材より 定期試験40%(単語理解6%、本文内容ディクテーション 14%(部分点あり)、内容理解15%、課題英作文 5%(部分点あり)) 平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出) e-learning 教材学習テスト40%(1回目 20% + 2回目 20%) e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	・ e-learning 自学自習(合計30時間) ・ 予習: 授業の範囲は学生のリクエスト通りになるので、リクエストのあった教科書の範囲に目を通し、事前に音源を聞いてくること(1時間/回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努めること(1時間/回)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	主教材: NHK NEWSLINE3(金星堂) 副教材: Campus Listening(成美堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	この講義では、DVD素材を利用して音読訓練を行います。タイムを指定して音読させるタイムアタック、テキストを後追いさせるオーバーラッピング、シャドウイングなど、学生の習熟度を診て判断します。
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	4/9 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認
第2回	4/16 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ
第3回	4/23 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ
第4回	4/30 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ
第5回	5/7副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ
第6回	5/14 e-learning教材学習テスト第一回目 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ
第7回	5/21 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ
第8回	5/28 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ
第9回	6/4 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ
第10回	6/11 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ
第11回	6/18 副教材 Unit 12、主教材 教科書継続、または新章へ
第12回	6/25 副教材 Unit 13、主教材 教科書継続、または新章へ
第13回	7/2 e-learning教材学習テスト第二回目 副教材 Unit 14、主教材 教科書継続、または新章へ
第14回	7/9 副教材 Unit 21、主教材 教科書継続、または新章へ
第15回	7/16 副教材 Unit 24、主教材 教科書終了
第16回	7/30 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013010	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2F(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan uma.bbiq.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日14:30~15:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	各ユニットが、科学工学分野の有名人一人に焦点を当てているテキストを読み、英語力の向上を図るとともに、この分野の歴史を知ることを目指す。今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に抜き出す、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、主題(main idea)や、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)を意識し、段落間の関係や、全体の主題と各段落との関係を、取る練習をする。また、音声を聞いた活動やディスカッション活動を通して、基本的な英語でのリスニング、ライティング、スピーキングの力も鍛え、英語による発信とコミュニケーションの応用力を強化する。現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力、発信力、総合的コミュニケーション力等、応用力の向上を目指す。		
授業到達目標 / Course goals	テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れる。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れる。文脈に応じて語彙の解釈ができる。基本的な英語を、聞いて理解できる。長い英語文章を読んで、段落間の関係や、全体の主題と各段落との関係を、理解できるようになる。基本的な英語で、自分の考えや感想を表現したり、クラスメイトと意見交換をできるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(2回)40%、定期試験40%、小テスト約12%、授業での提出物や積極的な授業への参加等約8%。 e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習（合計30時間） 予習：英語音声を、聞く、或いは、シャドウイングする（1回目は大意をとることに集中して、2回目は分からない単語や表現に下線を引きつつ1回目にとった大意を確かめながら）。次に、辞書を使って、分からない単語や表現をできるだけ調べ、テキストの問題を解いてみる。さらに、小テスト（予習タイプ）の準備をする。（1h） 復習：前回学習分の英文の中から、将来自分が英文で書く時に利用できそうな表現を選んで、それをを用いた自分の英文を書いてみる。（10m）
キーワード/Keywords	スキミング、スキャニング、主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)。
教科書・教材・参考書/Materials	Eureka!, Philip Z. Graham 他5名, NAN'UNDO, ¥1,870+税。 第1回目の授業の初めに教室でテキストを購入するので、代金を忘れずに。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全回出席が原則。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	毎回小テストをします。 予習して授業に臨むことが原則です。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。 英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 Archimedes
第2回	Unit 2 Leonardo da Vinci
第3回	Unit 3 James Watt
第4回	Unit 4 George Stephenson
第5回	Unit 5 Isambard Kingdom Brunel
第6回	第1回 e-learning教材学習テスト(30分程度) Unit 6 Nikolaus Otto
第7回	Unit 7 Gustave Eiffel
第8回	Unit 8 Thomas Edison
第9回	Unit 9 Nikola Tesla
第10回	Unit 10 Henry Ford
第11回	Unit 11 Guglielmo Marconi
第12回	Unit 12 Alan Turning
第13回	第2回 e-learning教材学習テスト(30分程度) Unit 13 Stephanie Kwolek
第14回	Unit 14 Steve Wozniak
第15回	Unit 15 Tim Berners-Lee
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013011	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2F(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi_n-junshin.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本でも親しまれている英米の物語を読むことによって、文法力や語彙力を増やし、英文の読解力を強化することを目標とする。またCDを聞くことでリスニング力を付け、英文のリズムをつかむ。さらに本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景に触れながら生きた英語を味わっていく。本年度はシャーロック・ホームズ・シリーズの代表的な短編2編をテキストとして取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	英語の文法力や語彙力を増やし、重要な構文を把握しながら、長文の読解力を強化することができるようにする。CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への積極的な取り組み状況(発表とクイズ) 10% 定期試験 50% e-learning教材学習テスト 40% (1回目20% + 2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習(合計30時間) 毎回指定した範囲の和訳、問題演習を予習しておく。(1時間/回) 授業の復習として毎回出されるクイズをやっておく。(30分/回)		
キーワード / Keywords	リーディング、リスニング、英文法、語彙、構文把握、		
教科書・教材・参考書 / Materials	Mystery Tour with Sherlock Holmes (センゲージ ラーニング)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	あらかじめ指定された担当者は和訳を発表すること。担当者以外の学生も毎回和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	シャーロックホームズの短編の中でも特に人気のある物語を取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語学習への動機を高めてくれるでしょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション (授業の進め方、シャーロック・ホームズ・シリーズとその英語について、Warm-Up)
第2回	Unit1: The Red-Headed League, An Easy Job リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第3回	Unit2: The Red-Headed League, Mr. Wilson Is Put to a Test リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第4回	Unit3: The Red-Headed League, Job Suddenly Ends リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第5回	Unit4: The Red-Headed League, Holmes Gathers Information リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第6回	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit5: The Red-Headed League, Setting the Trap リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第7回	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (1) リーディング、問題演習、リスニング
第8回	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第9回	Unit7: The Adventure of the Copper Beeches, A Job with Strange Requirements リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第10回	Unit8: The Adventure of the Copper Beeches, The Work Begins リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第11回	Unit9: The Adventure of the Copper Beeches, A Strange Observer リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第12回	Unit 10: The Adventure of the Copper Beeches, Miss Hunter Looks Around リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第13回	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 11: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Holmes Has an Idea リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第14回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (1) リーディング、問題演習、リスニング
第15回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013012	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2G1 ~ 2G3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	谷川 晋一		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟3F 多文化33番講義室 / SGHSS Lecture Room No.33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2G1 ~ 2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shintanigawa nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟10階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語4技能を学術的場面において活用する基礎的な訓練を行い、IELTS及びTOEFLを中心とした検定試験や英語での講義に対応できるような総合的な英語力を養成する。実際の検定試験や英語の講義で用いられる題材を用いて、情報を正確に理解し、効果的に読み手・聞き手に伝える方策について学習を行う。そして、それらを作成や発表に応用し、自分の意見や主張を英語で発信する訓練も行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験や講義等の学術的場面で用いられる語彙や表現を着実に身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。</li> <li>・文章構成やディスカッション、プレゼンテーションの基礎を正しく身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。</li> <li>・自分自身の意見や主張を論理的にまとめ、他者に向けて正確に発信できるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト: 40% 日頃の学習状況: 40% 中間・期末課題: 20% 日頃の学習状況には、小テストのスコア、課題の提出状況、授業参加態度が含まれる。 上記の基準で60%以上の取得が合格となる。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-learning 自学自習 (合計30 時間)</li> <li>・ 予習: LACSにアップロードする電子資料や動画、ウェブサイトを使って準備学習を行う (1時間/回)</li> <li>・ 復習: 授業で配布されたハンドアウトを再読し、理解を確実にするよう努める (1時間/回)。</li> </ul> この予習・復習は、毎回、授業冒頭で行う小テストを受ける上で前提となる。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	特定の教科書等は使用せず、プリント等の配布資料を用いる。 参考書等は、講義中に提示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テスト・課題を中心に成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 4/9	オリエンテーション & 配布資料1
第2回: 4/16	配布資料2
第3回: 4/23	配布資料3
第4回: 4/30	配布資料4
第5回: 5/7	配布資料5
第6回: 5/14	e-learning教材学習テスト (1)
第7回: 5/21	配布資料6
第8回: 5/28	配布資料7
第9回: 6/4	中間課題
第10回: 6/11	配布資料8
第11回: 6/18	配布資料9
第12回: 6/25	配布資料10
第13回: 7/2	e-learning教材学習テスト (2)
第14回: 7/9	配布資料11
第15回: 7/16	配布資料12
第15回: 7/30	期末課題

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013013	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(英4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-yamada sun.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。DVD付きテキストを使用しリスニング力を鍛える。また英文エッセイの内容について英問英答で理解を確認し、読解のポイントをつかむ。英文を聞き取る練習として、英英辞典を使った単語クイズも行う。テキストに基づいたディクテーション・テストをするほか、e-learning課外学習も組み入れてリスニング力・語彙力を強化する。また、Highlighting Japan の記事の読解やTEDの視聴を課題とすることで、実社会の英語に日常的に触れるための土台を作る		
授業到達目標/Course goals	1. 平易な英語で書かれていれば、社会の問題について書かれた英文でも理解できるようになる。 2. わかりやすく話された英語であれば、ビジネスや社会のことについての会話でも理解できるようになる。 3. 簡単な内容についての自分の意見を、文で相手に伝えることができるようになる。 4. 英文の質問に対する自分の意見などを、平易な英文で書けるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身に付けて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験(ディクテーションを含む) 20% 中間テスト(ディクテーションを含む) 15% 課題確認シートの提出10% 授業への参加度15% e-learning教材学習テスト40%(1回目20%+2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	各回の授業の予習として、各ユニットの語彙クイズ(Key Vocabulary)をして、Reading Passageを読んでくることを課題とする。復習としては、自分の単語ノートを作っておくこととDVDのシャドウイングをしておくことを課題とする。どの程度できているかは、授業中のPop-Quizや中間テスト、定期テストで確認する。毎回の授業の最後にコメントシートを提出し、毎回の授業の振り返りを行う。 e-learning 自学自習(合計30時間) 予習: 事前に指定した教科書範囲を読んで問題をやる(30分/回) 復習: 授業で学習した教科書の単語などの復習とDVDを使ったシャドウイング(30分/回) Highlighting Japan の記事読解やTEDの視聴(30分/回)		

キーワード/Keywords	Repetition is the mother of learning.
教科書・教材・参考書/Materials	Alice Gordenker /John Rucynski 『Working in Japan』 Cengage Learning, 2015
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習状況や質問・応答など、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作等不真面目な態度は減点評価する。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について）
第2回	Unit 1: Sales Can Be Like Acting
第3回	Unit 2: Travel Opens Up the World
第4回	Unit 3: Love Sells Cars
第5回	Unit 4: Translating Is More Than Words
第6回	Unit 5: Serve Up the Best Possible Service e-learning教材学習テスト 1回目
第7回	中間テスト
第8回	Unit 7: Teaching Is Helping Others Perform Their Best
第9回	Unit 6: Toast Your Success!
第10回	Unit 8: Build a Happy Life!
第11回	Unit 9: Life Is Like Riding a Bicycle
第12回	Unit 10: Trade Ideas for Positive Change
第13回	Unit 11: Connect Workers With Companies e-learning教材学習テスト 2回目
第14回	Unit 12: Necessity Is the Mother of Invention
第15回	Unit 13: What's the Recipe for Success
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013014	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E(英5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は、最近よく耳にするグローバル化について、過去や現在の外国の事例に触れ、今後起こりうる問題に対して、どのように対処していくべきか、自身の考えを表現していく力を身につけていきます。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考える能力を身につけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認小テスト (2点 x 10 = 20点) + 定期試験 40点 + e-learning教材学習テスト 40点		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30時間) 普段から国際ニュースを見ること。(2h/回) また、分からなかった単語や事象を授業後に調べるようにすること。(2h/回)		
キーワード / Keywords	Globalization		
教科書・教材・参考書 / Materials	Coping with Globalization (三修社) 1,700円+税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は必ず予習をして臨んで下さい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Introduction
2	Chapter 1 What Non-Japanese People Expect from Japan
3	Chapter 1 内容理解確認小テスト Chapter 2 What Inbound Tourists Expect from Japanese People
4	Chapter 2 内容理解確認小テスト Chapter 3 Productive Intercultural Interactions
5	Chapter 3 内容理解確認小テスト Chapter 4 Utilizing Silence and Space in Japanese Culture
6	e-learning 教材学習テスト1回目 Chapter 5 The Needs of Hotel Guests
7	Chapter 5 内容理解確認小テスト Chapter 6 Clear Messages in a Lawsuit Society
8	Chapter 6 内容理解確認小テスト Chapter 7 Information Wars
9	Chapter 7 内容理解確認小テスト Chapter 8 A Victor in Information Wars (1)
1 0	Chapter 8 内容理解確認小テスト Chapter 9 A Victor in Information Wars (2)
1 1	Chapter 9 内容理解確認小テスト Chapter 10 Falling Occupations and Rising Occupations
1 2	Chapter 10 内容理解確認小テスト Chapter 11 Fair Survey
1 3	e-learning 教材学習テスト2回目 Chapter 12 Diversifying Risks
1 4	Chapter 12 内容理解確認小テスト Chapter 13 Fusion of Different Cultures in Education
1 5	Chapter 14 Focusing on One's Country's Merits 総復習
1 6	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013015	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E(英6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etudiants_nagu yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 10時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人間の資質や生き方、世界の様々な事柄に関して書かれた優れた英文を熟読し、青年期にある学生の皆さんがこれから生きていくうえで大切な知恵や人生の指針について学ぶ。教養を高め、自己を磨く一助とする。また、ここで学んだ知識を将来の生き方に役立てられるよう、身に付ける。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来優秀な経済学士になられることはもとより、人として、学生の皆さんには重要かつ必要不可欠です。 英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。英文を「英語で」理解できるようになる。		
授業到達目標/Course goals	人間の優れた資質や生き方について関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、e-learning教材学習テスト 40%、小テスト 10%を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	・ e-learning自学自習 (合計30時間) 毎回必ず英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。 ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習 (1時間/回) ・ 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるように整理しておくこと。 (1時間/回)		
キーワード / Keywords	リーディング・スキルの向上 / 人間の資質 / 生き方と人生 / 世界の様々な事象 / 心と人生を豊かに / 教養を高める		

教科書・教材・参考書/Materials	Living in a Global Community 『グローバル社会を生きる：道を拓く人々』（小林純子：朝日出版社） 英和辞典（電子辞書）を必携すること。 音声教材は、 <a href="http://text.asahipress.com/free/english">http://text.asahipress.com/free/english</a> にて、無料配信しています。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月10日	導入・授業内容の説明
第2回 4月17日	Unit 1 The Power of Photography
第3回 4月24日	Unit 2 Disaster Recovery Coordinators
第4回 5月 1日	Unit 3 Taking Risks
第5回 5月 8日	Unit 4 Trying for a Comeback
第6回 5月15日	【e-learning 教材学習テスト 第1回目】 Unit 5 The Ups and Downs in the Restaurant Industry
第7回 5月22日	Unit 5 The Ups and Downs in the Restaurant Industry Unit 6 Niche Market
第8回 5月 29日	Unit 7 Example without Preaching (1)
第9回 6月 5日	Unit 8 Example without Preaching (2)
第10回 6月12日	Unit 10 Leading a Steady Life
第11回 6月19日	Unit 11 White Lies ?
第12回 6月26日	Unit 12 Seeking the Blue Bird of Happiness
第13回 7月 3日	【e-learning 教材学習テスト 第2回目】 Unit 9 Mediators
第14回 7月10日	Unit 14 Living his Faith
第15回 7月17日	Unit 15 The Challenges of the State of Oregon
第16回 7月31日	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013016	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 1 限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ニュースを通して、時事ネタを英語で学ぶ。授業では、オーセンティックな教材を使用しながらリスニング、リーディングの指導を行う。また、興味のあるニュースについて調べ、理解し、他者と意見交換を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なニュースであれば、概要を理解できるようになる。</li> <li>・自分が興味のあるニューストピックを見つけ、調べ、英語で概要をまとめられるようになる。</li> <li>・自分の意見を簡潔に英語で伝えられるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(2回) : 40% 授業中の取り組み、発表評価 : 25% 小テスト : 15% 期末テスト : 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通し、次の時間に発表できるように自分の考えをまとめ、英語で発表できるよう準備する。(1時間/回) 復習: 配布資料等を見直し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については次の授業までにLACSの掲示板に投稿すること。(30分/回)		
キーワード / Keywords	ニュース、CNN		
教科書・教材・参考書 / Materials	CNNショートニュースを用いたリスニング・リーディング		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション アンケートへの回答 プレテスト	F
第2回	Unit 1、Unit 2 グループ内でのディスカッション 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第3回	Unit 3、Unit 4 グループ内でのディスカッション 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第4回	Unit 5、Unit 6 グループ内でのディスカッション 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第5回	Unit 7 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第6回	e-learning教材学習テスト(1回目) Unit 8、Unit 9 グループ内でのディスカッション 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第7回	Unit 10、Unit 11 グループ内でのディスカッション 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第8回	Unit 12、Unit 13 グループ内でのディスカッション 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第9回	Unit 14、Unit 15 グループ内でのディスカッション 自分の考えをまとめ、英語で発表する	A B
第10回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事を探す。	B
第11回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事を探す。	D
第12回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事について調べる。	D
第13回	e-learning教材学習テスト(2回目) グループで興味のあるニュースを選び、関連記事について自分達の意 見をまとめる。	D
第14回	プレゼンテーション	B
第15回	フィードバック、振り返りとまとめ	A
第16回	期末テスト	E

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013017	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn hotmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本授業では、大学や社会で必要とされる英語の基礎能力の習得を目指します。英語は、世界とつながるための有効なツールです。今後、英語を使えるようになると、あなたの世界はグローバル単位で大きく広がりますし、職業上でも様々なチャンスを得られる機会が増えることでしょう。本授業では、皆さんになかなか機会のない英語の「話す」「書く」のアウトプットの能力の向上を目指す活動に慣れ親しんでもらい、これまでの「知識としての英語」から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけてもらうことを目指します。</p> <p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、ほぼ毎レッスン内容理解確認小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにネイティブスピーカーの生活圏にある素材を用いた教材、洋画 (DVD視聴) を使用し、Readers' theater (朗読劇) などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつながり方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めて行きます。</p> <p>(1) LACSによる内容理解確認小テスト</p> <p>(2) テキストを使用した演習 (ペアワーク、グループワーク、あるいは配布物による学習を含む)</p> <p>(3) 3分間英語のみで会話 録音 録音を聞きなおす (ディクテーション) 自己評価 (振り返りシート)</p> <p>(4) 洋画視聴 (5~10分程度)</p> <p>提出されたグループワーク等は、添削評価して返却します (パフォーマンス課題にはルーブリックを準備)。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できるようになる。</p> <p>(2) 与えられた写真 (あるいは絵) を見て的確に英語で表現することができるようになる。</p> <p>(3) やや簡易な会話を聞いて要約できるようになる。</p> <p>(4) その会話の和訳を英訳できるようになる。</p> <p>(5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができるようになる。</p> <p>(6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容をある程度理解することができるようになる。</p> <p>(7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習しネイティブにより近い発音で音読できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		

学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	20%定期試験、40%授業への取り組み(授業への積極的な姿勢10%、内容理解確認小テストx12回/20%、提出課題4%、グループワーク及びReaders' theater 6%)、40%e-learning教材学習テスト(20% x 2回:3 Step Call System, Power Wordsより)を総合的に判断します。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・e-learning 自主学習(合計30時間程度) ・予習:事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、またLACSによる小テスト(12回実施予定)にむけた学習(1時間/回) ・復習:教科書(の中の会話文は、口からついて出てくる程度音読の練習をすること)やプリント(毎レッスン視聴する洋画の字幕等)を再読し、新しい単語、表現は確実に調べ、理解が不十分な点については質問できるように整理しておくこと(1時間/回)
キーワード/Keywords	音読、リピーティング、ディクテーション
教科書・教材・参考書/Materials	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 3 Student's Book B with Online Self-study』 Cambridge University Press - ISBN:978-1-108-55982-9を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語でコミュニケーションができると世界(チャンス)が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(4/10)	第1回のオリエンテーションの授業では、授業で扱う内容や学習方法、評価方法などを説明します。授業は、演習形式で行います。授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワークを通して出来る限りアウトプット能力を高めるためにスピーキング&ライティングなどの機会を設けます。特に、スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater(朗読劇)などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキストの予習、復習を十分にして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価40%)。*(G/W) Group workの省略 オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)
第2回(4/17)	テキスト Relationships
第3回(4/24)	Relationships *(G/W)
第4回(5/1)	Relationships
第5回(5/8)	Relationships & テキスト Environment, e-learning 復習他
第6回(5/15)	1回目e-learning 教材学習テスト(3step, Power words), Environment & Reader's theaterの説明
第7回(5/22)	Readers' theater *(G/W)
第8回(5/29)	Environment
第9回(6/5)	Environment
第10回(6/12)	Environment & テキスト On Vacation
第11回(6/19)	On Vacation, (G/W) / Readers' theater

第12回 (6/26)	On Vacation, e-learning 復習他
第13回 (7/3)	2回目e-learning 教材学習テスト(3step, Power words), On Vacation
第14回 (7/10)	On Vacation, Review
第15回 (7/17)	Review
第16回 (7/31)	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013018	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は、文化、環境、技術、教育など幅広い分野のニュース記事を通し、時代の流れとともに出てきた新たな問題について認識を深めていく、読解を中心とした授業です。また、ニュース記事の構成にも触れ、新聞記事の読み方についても確認していきます。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考える能力を身に付けることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認小テスト (2点 × 10 = 20点) + 定期試験 40点 + e-learning教材学習テスト 40点		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30時間) 普段から国際ニュースをみること。(2h/回) また、分からなかった単語や事象を授業後に調べるようにすること。(2h/回)		
キーワード / Keywords	news		
教科書・教材・参考書 / Materials	Insights 2020 (金星堂) 1,900円+税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は必ず予習をして臨んで下さい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Introduction
2	Chapter 1 Books! Bringing a Bright Future to Children
3	Chapter 1 内容理解確認小テスト Chapter 2 Brew Sake with Fresh Ideas!
4	Chapter 2 内容理解確認小テスト Chapter 3 A Unique Tour Guide
5	Chapter 3 内容理解確認小テスト Chapter 4 A Banana with an Edible Peel
6	e-learning教材学習テスト1回目 Chapter 5 Too Crowded to Carry it on our Backs!
7	Chapter 5 内容理解確認小テスト Chapter 6 Monitoring Kid's Phone Use
8	Chapter 6 内容理解確認小テスト Chapter 7 Learn about your Pet Dog at the Museum
9	Chapter 7 内容理解確認小テスト Chapter 8 Dream of Space Tourism Comes True
1 0	Chapter 8 内容理解確認小テスト Chapter 9 Save the World from Garbage!
1 1	Chapter 9 内容理解確認小テスト Chapter 10 Manga Featuring the Elderly
1 2	Chapter 10 内容理解確認小テスト Chapter 11 Why Not Go to Kyoto?
1 3	e-learning 教材学習テスト2回目 Chapter 12 To Be More Eco-friendly
1 4	Chapter 12 内容理解確認小テスト Chapter 13 A Pleasant Night's Sleep at a Capsule Hotel
1 5	Chapter 14 Healthy Lifestyles Discount Premium 総復習
1 6	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013019	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2D1・2D2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2D1・2D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:00~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。今までインプットした単語や文法力などを存分に生かしアウトプットすることによって英語の総合力向上を目指します。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1・英語使用のトレーニングを通し、抵抗なく英語を使えるようになる。</li> <li>2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させることができる。</li> <li>3・主体性をもって他者と協働し、プレゼンテーション成功の為に自ら考え実行に移すことができるようになる。</li> <li>4・e-learningを通したinputと授業中に行うoutputの練習を通しバランスよく英語の総合力向上することができる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</li> <li>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives</li> <li>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills</li> <li>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</li> <li>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</li> </ol> ペアワークを通し、自分の意見を瞬時にまとめ発話する。今まで英語で会話したことのないような多岐に渡るトピックを出題する。 F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み (15点) + プレゼンテーショングループ評価 (30点) + レポート提出 (15点) + e-learning教材学習テスト (40点) 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-learning 自学自習 (合計30時間)</li> <li>・ プレゼンテーション準備・授業内のグループミーティングの後、個人での英文作成などを実施 (30分/回)</li> <li>・ レポートの為に映画鑑賞及びレポート作成 (合計10時間)</li> </ul>		
キーワード / Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は使用しません。Listening activityは、TEDもしくはEnglish Centralを用いて実施します。Speaking activityはこちらで用意したカードや授業内で作成する物を用いて行います。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会に出た後に英語を実際に使えるように、この授業を通し英語使用のトレーニングをします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を総合的に活用するよう試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。皆さんの未来の更なる英語学習へのモチベーションが構築されるよう全員、積極的に参加してください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	株式会社イーオンにて大人・子供の英会話指導経験 / 現在英会話・日本語会話スクールLejet主宰	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	Orientation Speaking activity Group activity	B C E
第2回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第3回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第4回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第5回	e-learning 教材学習テスト1回目 Speaking practice Group activity	B C E
第6回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第7回	Listening practice Speaking practice Group activity	B C
第8回	Presentation 1回目	B C
第9回	Listening practice Speaking practice Group activity	B C E
第10回	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第11回	e-learning 教材学習テスト2回目 Speaking practice Group activity	B C E
第12回	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第13回	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第14回	Presentation 2回目	B C
第15回	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013020	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部実験棟1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	論理的に大意を素早く日本語であるいは英語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事事前学習として教材の予習及び課題(2時間/回)、事後学習として課題の見直し(1時間/回) e-learning自学自習(合計30時間)		
キーワード / Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書 / Materials	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円(税別)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕 / 高等学校英語教員としての実務経験 / 高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。 / 佐賀県立致遠館高等学校 佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明
第2回	Listening 1, テキストUnit1
第3回	Listening 2, テキストUnit2
第4回	Listening 3, テキストUnit3
第5回	e-learning教材学習テスト1回目(約30分程度), テキストUnit4
第6回	Listening 5, テキストUnit5
第7回	Listening 6, テキストUnit6
第8回	DVD教材(1), テキストUnit8
第9回	DVD教材(2), テキストUnit9
第10回	Listening 7, テキストUnit10
第11回	e-learning教材学習テスト2回目(約30分程度), テキストUnit11
第12回	Listening 8, テキストUnit12
第13回	Listening 9, テキストUnit13
第14回	Listening 10 テキストUnit14&15
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013021	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英7)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英7)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は、クリーンエネルギー、モノのインターネット、空飛ぶクルマなど私たちを取り巻く現代的で近未来の科学分野への知見を読解を通して深めていきます。また、Active Learningでは、各Unitで取り扱ったテーマに関するデータ分析をし、自身の見解を発表してもらいます。		
授業到達目標/Course goals	1. グローバルの視点から多様性を理解する態度・志向性を身につけることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考えること能力を身につけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認小テスト(2点×10=20点)+定期試験40点+e-learning教材学習テスト40点		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) <予習>教科書の該当範囲について事前に読んでおくこと(2h/回) <復習>講義内容および講義資料をもとに復習すること(2h/回)		
キーワード / Keywords	Science		
教科書・教材・参考書 / Materials	Science Quest 未来科学への誘い (成美堂) 1,900円+税		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は必ず予習をして臨んで下さい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Introduction
2	Unit 1 Fast Asleep?
3	Unit 1 内容理解確認小テスト Unit 2 All Gone?
4	Unit 2 内容理解確認小テスト Unit 3 Beeing and Nothingness
5	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 4 As Clever as Us?
6	Unit 4 内容理解確認小テスト Unit 5 Life in the Oceans
7	Unit 5 内容理解確認小テスト Unit 6 Powering Our World
8	Unit 6 内容理解確認小テスト Unit 7 Hot, Powerful, and Clean
9	Unit 7 内容理解確認小テスト Unit 8 Keep on Running
10	Unit 8 内容理解確認小テスト Unit 9 Where Are All the Trees?
11	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 10 Too Hot to Live?
12	Unit 10 内容理解確認小テスト Unit 11 Reading Anywhere
13	Unit 11 内容理解確認小テスト Unit 12 Controlling Everything
14	Unit 12 内容理解確認小テスト Unit 13 Easy Payments
15	Unit 15 Let's All Play 総復習
16	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013022	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英8)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英8)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan uma.bbiq.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	各ユニットが、科学工学分野の有名人一人に焦点を当てているテキストを読み、英語力の向上を図るとともに、この分野の歴史を知ることを目指す。今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に抜き出す、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、主題(main idea)や、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)を意識し、段落間の関係や、全体の主題と各段落との関係で、取る練習をする。また、音声を聞いた活動やディスカッション活動を通して、基本的な英語でのリスニング、ライティング、スピーキングの力も鍛え、英語による発信とコミュニケーションの応用力を強化する。現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力、発信力、総合的コミュニケーション力等、応用力の向上を目指す。		
授業到達目標 / Course goals	テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れる。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れる。文脈に応じて語彙の解釈ができる。基本的な英語を、聞いて理解できる。長い英語文章を読んで、段落間の関係や、全体の主題と各段落との関係を、理解できるようになる。基本的英語で、自分の考えや感想を表現したり、クラスメイトと意見交換をできるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	課外学習のe-learning 40% (3 Step-CALL と Power Words とを内容とするe-Learning教材学習テスト2回、各30分程度)、定期試験40%、小テスト約12%、授業での提出物や積極的な授業への参加等約8%。 課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 予習：英語音声を、聞く、或いは、シャドウイングする(1回目は大意をとることに集中して、2回目は分からない単語や表現に下線を引きつつ1回目にとった大意を確かめながら)。次に、辞書を使って、分からない単語や表現をできるだけ調べ、テキストの問題を解いてみる。さらに、小テスト(予習タイプ)の準備をする。(1h/回) 復習：前回学習分の英文の中から、将来自分が英文で書く時に利用できそうな表現を選んで、それをを用いた自分の英文を書いてみる。(10m/回)
キーワード/Keywords	スキミング、スキヤニング、主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)。
教科書・教材・参考書/Materials	Eureka!, Philip Z. Graham 他5名, NAN'UNDO, ¥1,870+税。 第1回目の授業の初めに教室でテキストを購入するので、代金を忘れずに。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全回出席が原則。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	毎回小テストをします。 予習して授業に臨むことが原則です。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。 英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 Archimedes
第2回	Unit 2 Leonardo da Vinci
第3回	Unit 3 James Watt
第4回	Unit 4 George Stephenson
第5回	第1回 e-learning教材学習テスト(30分程度) Unit 5 Isambard Kingdom Brunel
第6回	Unit 6 Nikolaus Otto
第7回	Unit 7 Gustave Eiffel
第8回	Unit 8 Thomas Edison
第9回	Unit 9 Nikola Tesla
第10回	Unit 10 Henry Ford
第11回	第2回 e-learning教材学習テスト(30分程度) Unit 11 Guglielmo Marconi
第12回	Unit 12 Alan Turning
第13回	Unit 13 Stephanie Kwolek
第14回	Unit 14 Steve Wozniak
第15回	Unit 15 Tim Berners-Lee
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013023	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英9)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英9)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishihara kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に質問を受けます。それ以外はメールでお願いします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	国内の多様な分野にわたるニュースをピックアップしたテキストを使い、それぞれの取り組みについてニュースを英語で理解し、その取り組みに関して英語でまとめたり、それに関する自分の意見を表現できるように4技能を有機的に結び付けながら練習する。特に授業内ではペアワークを通して英語を使う機会を多く設定する。また、学期中、2回のグループプレゼンテーションを通して自分の考えをわかりやすく発信することも学習する。		
授業到達目標/Course goals	この授業を通して、以下のような力をつけていくことを目標としています。 1. 多様な分野に渡るニュースを英語で理解し、その概要をわかりやすくまとめ英語で発信することができるようになる。 2. 現代日本で、地域社会及び将来世代に貢献するためにどのようなことがなされているのか理解し、さらに、自分がどのような貢献ができるか考え意見交換をすることができるようになる。 3. プレゼンテーションでわかりやすく論理的に表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト40% + 授業内での積極的な英語使用、及びプレゼンテーション 20% + 定期試験40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習(合計30時間) 予習: 次に見るニュースを事前に何度も見て、リスニングの問題を解いてくる(1時間/回) 2度のグループプレゼンテーションのために、様々な情報を収集して準備をする(1時間/回)		
キーワード / Keywords	英語表現、やり取り、主体性、協働性		
教科書・教材・参考書 / Materials	山崎達郎他著 『NHK NEWSLINE 3』 3映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本(金星堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業の中では、学生が主体となって英語を使います。恥ずかしがらずに、積極的にクラスメートと関わって英語で会話をするようにしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目	Unit 1 Gunning for Glory
2回目	Unit 2 Video Bingeing
3回目	Unit 3 Speaking Their Language
4回目	Unit 4 Creativity from the Campus
5回目	e-learning 教材学習テスト一回目 Unit 5 Firms Help Fight Plastic Pollution
6回目	グループプレゼンテーション（1回目）
7回目	プレゼンテーションの振り返り Unit 6 Foreign Students Get Helping Hand
8回目	Unit 7 Fighting Food Waste
9回目	Unit 8 Insulator Promises Energy Savings
10回目	Unit 9 The Fight of Their Life
11回目	e-learning 教材学習テスト二回目 Unit 10 Not-So-Human Resources
12回目	Unit 11 Adapting to a Tourist Influx
13回目	プレゼンテーション2回目
14回目	プレゼンテーション振り返り Unit 12 Japan's Creative Classrooms
15回目	Unit 13 New Spin on Laundromats
16回目	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013024	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英10)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英10)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	Jissei kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	理工系の分野のトピックを扱い、今日までの科学の発展を学び、未来の科学を考えます。400字程度の英文とその内容理解でトピックを学ぶだけでなく、基本的な科学の専門用語に焦点を当てた語彙問題や、数式、形やグラフの英語表現など、実践的な理工系英語を身につけます。		
授業到達目標/Course goals	(1) 理工系のトピックについて書かれた400字程度の英文の内容を、語彙・語法・文構造・パラグラフ構造のすべての面において、授業終了後には90%理解できるようになる。 (2) 上記(1)の英文のリスニング活動とディクテーション活動を通して、基本語彙を、音声・意味・語法・スペリングの4側面すべてにおいて「身につける」ことができる。 (3) 基本的な科学の専門用語、数式、形やグラフの英語表現など、実践的な理工系英語を知り、これをライティング、スピーキングで実践できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	(1) e-learning教材学習テスト1回目 20% (2) e-learning教材学習テスト2回目 20% (3) Unitテスト 30% (4) 定期試験 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(1) 次週学習ユニットの予習 (3h) (2) ユニットテストに備えた復習 (1h) (3) e-learning自学自習 (合計30時間)		
キーワード / Keywords	Science English Technical Language		
教科書・教材・参考書 / Materials	Dave Rear & Kayoko Murakami, Advances in Science: Learning from the Past, Looking for the Future (『私たちと科学の世界 過去から未来へ』) 2019年、南雲堂		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特にありません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	<a href="https://nanun-do.com">https://nanun-do.com</a> 音声ストーリーミング テキスト番号 [ 512023 ]
学生へのメッセージ/Message for students	成績評価における、Unit Testスコアの割合を多めに設定しています。Unit Testは授業の冒頭におこなうので、遅刻・欠席の場合は0点となることを十分理解して授業に臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 9月28日	Unit 1: The Scientific Method Understanding Technical Language: Formulas I
第2回 10月5日	Unit 2: Observing the Solar System Understanding Technical Language: Formulas II
第3回 10月12日	Unit 3: The Beauty of Mathematics Understanding Technical Language: Formulas III
第4回 10月19日	Unit 4: From Light Bulbs to LEDs Understanding Technical Language: Shapes
第5回 10月26日	e-learning教材学習テスト1回目（成績評価の20%） Unit 5: The Risks and Rewards of Radiation Understanding Technical Language: Dimensions and Materials
第6回 11月2日	Unit 6: The Man Who Saved Millions Understanding Technical Language: Tools and Parts
第7回 11月9日	Unit 7: Unlocking the Mysteries of Gravity Understanding Technical Language: Movements and Actions
第8回 11月16日	Unit 8: The Strange World of Atoms Understanding Technical Language: Directions of Movement
第9回 11月30日	Unit 9: Interstellar Travel Understanding Technical Language: Giving Instructions
第10回 12月7日	Unit 10: Limitless Energy Understanding Technical Language: Graphs and Figures I
第11回 12月14日	e-learning教材学習テスト2回目（成績評価の20%） Unit 11: The Surprising Uses of Nanotechnology Understanding Technical Language: Graphs and Figures II
第12回 12月21日	Unit 12: Creating the Perfect Human Understanding Technical Language: Numbers and Graphs
第13回 1月4日	Unit 13: The New Age of Computing Understanding Technical Language: Describing Functions
第14回 1月18日	Unit 14: The Coming of the Machines Understanding Technical Language: Fields of Science and Engineering
第15回 1月25日	Unit 15: The Future of Medicine Understanding Technical Language: Jobs in Science and Engineering

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013025	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumura_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス 共用校舎2 1階(総合体育館裏)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	TED Talksのスピーチから様々なアイデアを受取り、英語やプレゼンテーションのスキルを学ぶ。生きたスピーチから刺激を受け、自らの考え方をみつめてより広げる力、世界を深く理解する力、自らの考えを発信する力を高める。		
授業到達目標/Course goals	1. 英語コミュニケーション力を高め、プレゼンテーションの手法を学ぶ。 2. 英語を「聞く・読む・書く・話す」技能を高める。 3. Communication, Collaboration, Creativity, Critical thinkingそれぞれのスキルを養う。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	1. Online HW 3回 9% (3×3: 90%以上正解で3、60%-89%正解で2、59%以下は0点なのでやり直しをしてください) 2. Presentation 6% 3. 定期テスト 30% 4. e-learning 教材学習テスト40% (20%×2) 5. 授業中の発表、取り組み 15%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	・ e-learning自学自習(合計30時間) ・ 予習: MyELTのonline assignmentsを行い、テキストの音声を聴き、transcriptの語彙を調べて、テキストの問題を解いてくること、presentationの準備と練習(1時間/回) ・ 復習: 解けなかった問題の内容を確認する、Reading passageのわからない箇所を確認し、次回の授業で質問する、TED talkを再度聴き、意味を確認する、Lacsでの英語での意見交換(1時間/回)		
キーワード / Keywords	Presentation, TED Talks, English Communication, Critical Thinking		
教科書・教材・参考書 / Materials	Helen Stephenson, Lewis Lansford他(2017), TED TALKS Keynote 4B combo split, CENGAGE Learning		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	欠席はマイナス3点、遅刻はマイナス1点、6回以上欠席(公欠を除く)場合は単位修得できません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 9/29	授業のガイダンス、DVDを観る、MyELTの登録：この日までに必ずテキストを購入しておくこと。
2 10/6	Unit 7. Medical Frontiers
3 10/13	Unit 7. Medical Frontiers
4 10/20	Unit 7. Medical Frontiers
5 10/27	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 7. Medical Frontiers
6 11/10	Unit 8. Life Decisions
7 11/17	Unit 8. Life Decisions
8 11/24	Unit 8. Life Decisions
9 12/1	Unit 8. Life Decision/ Unit 9. Technology and Innovation
10 12/8	Unit 9. Technology and Innovation
11 12/15	e-learning教材学習テスト2回目 Presentation準備/ Unit 9. Technology and Innovation
12 1/5	Presentation テキストp.125参照
13 1/12	Presentation
14 1/19	Unit 9. Technology and Innovation
15 1/26	Unit 10. Connections
16 2/2	期末試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013026	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:10~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。今までインプットした単語や文法力などを存分に生かしアウトプットすることによって英語の総合力向上を目指します。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1・英語使用のトレーニングを通し、抵抗なく英語を使えるようになる。</li> <li>2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させることができる。</li> <li>3・主体性をもって他者と協働し、プレゼンテーション成功の為に自ら考え実行に移すことができるようになる。</li> <li>4・e-learningを通したinputと授業中に行うoutputの練習を通しバランスよく英語の総合力向上することができる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</li> <li>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives</li> <li>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills</li> <li>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</li> <li>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</li> </ol> ペアワークを通し、自分の意見を瞬時にまとめ発話する力を養う。今まで英語で会話したことのないような様々なトピックを出題する。 F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み (15点) + プレゼンテーショングループ評価 (30点) + レポート提出 (15点) + e-learning教材学習テスト (40点) 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・e-learning 自学自習(合計30時間)</li> <li>・プレゼンテーション準備・授業内のグループミーティングの後、個人での英文作成などを実施(30分/回)</li> <li>・レポートの為に映画鑑賞及びレポート作成(合計10時間)</li> </ul>		
キーワード / Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は使用しません。Listening activityは、TEDもしくはEnglish Centralを用いて実施します。Speaking activityはこちらで用意したカードや授業内で作成する物を用いて行います。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会に出た後に英語を実際に使えるように、この授業を通し英語使用のトレーニングをします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を総合的に活用するよう試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。皆さんの未来の更なる英語学習へのモチベーションが構築されるよう全員、積極的に参加してください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	株式会社イーオンにて大人・子供の英会話指導経験 / 現在英会話・日本語会話スクールLejet主宰	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	Orientation Speaking activity Group activity	B C E
第2回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第3回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第4回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第5回	e-learning 教材学習テスト1回目 Speaking activity Group activity	B C E
第6回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第7回	Presentation 1回目	B C
第8回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第9回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第10回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第11回	e-learning 教材学習テスト2回目 Speaking activity Group activity	B C E
第12回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第13回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第14回	Presentation 2回目	B C
第15回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013027	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火2, 水5, 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	まず、授業時に任意で指定したニュース教材を、必要な情報を探しながら、英文をはやく正確に読む練習を行う。授業中に読んだ教材は、細部までの詳細な読みを課題として自宅で行い、翌週確認作業を行う。医療関係の問題を扱ったプリント教材は、授業時に指定した構文や表現は、必ず身に付けてもらう。		
授業到達目標/Course goals	1) 医療関係の話題をとりあげたCD教材を聞いて、必要な情報を聞き取り、使われた重要な表現をえるようになる。 2) 様々なテーマを扱った英字新聞の英文を読んで、必要な情報を見つけ、英文の内容を理解することができる。 3) 学習して教材を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。 4) 他のスピーカーのプレゼン内容へのコメントや意見交換ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験40%、 e-learning教材学習テスト40%、 プレゼンペーパー等の提出物10%、 授業でのアクティビティ、小テスト 10% で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 毎回課せられるプリント教材の精読。(1時間/回) 小テストのための学習。(1時間/回)		
キーワード / Keywords	Repeating, Pair Work, Listening Strategies, Scanning, Skimming		
教科書・教材・参考書 / Materials	「教科書(テキスト): 「幕末近代化の先覚者たち」(英光社) ¥1,900		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning教材（3 Step やパワーワーズ）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Reading（テキストUnit 1）
第2回	Power Words Unit 1~10 小テスト Reading（テキストUnit 1）
第3回	Reading（テキストUnit 2） Don't Just Sit There（1）
第4回	Power Words Unit 11~20 小テスト Reading（テキストUnit 3） Don't Just Sit There（1）
第5回	e-learning 教材学習テスト第1回目 Reading（テキストUnit 4）
第6回	Reading（テキストUnit 5） Don't Just Sit There（2）
第7回	Power Words Unit 21~30 小テスト Reading（テキストUnit 6） Don't Just Sit There（2）
第8回	Reading（テキストUnit 7） Don't Just Sit There（3）
第9回	Power Words Unit 31~40 小テスト Reading（テキストUnit 8） Don't Just Sit There（3）
第10回	Power Words Unit 41~50 小テスト Reading（テキストUnit 9） Don't Just Sit There（4）
第11回	第2回目e-learning教材学習テスト Reading（テキストUnit 10）
第12回	Reading（テキストUnit 11） Don't Just Sit There（4）
第13回	Reading（テキストUnit 12） Don't Just Sit There（5）
第14回	Reading（テキストUnit 13） Don't Just Sit There（5）
第15回	テキスト教材を用いたグループワーク、プレゼンテーション代表者コンテスト Don't Just Sit There 復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013028	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noribei07142007 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	noribei07142007 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	最新の話題、新聞記事、ジャーナル、ブログ、インタビューなど様々な文章スタイルを読みこなしながら、語彙力の強化とともに、読解力向上に役立つReading Fluencyの習得に努める。		
授業到達目標/Course goals	(1)TOEIC 550~600程度の読解問題を解くことができる。 (2)語彙力の強化により、内容を的確に把握し、読解のスピードを上げる。 (3)Reading Strategyを使いながら、システムティックに読解力の向上を目指す。 (4)最新のニュースを読むことにより、時事への関心を深める。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト 40%、授業参加度・小テスト等 10%、期末テスト 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	・ e-learning自学自習(合計30時間) ・ 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Select Readings (Second Edition) : Intermediate		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Course Outline (導入) : 教材配布
第2回	Chapter 4 Reading the Passage
第3回	Chapter 4 Reading the Passage
第4回	Chapter 4 Reading and Vocabulary Comprehension
第5回	e-learning 教材学習テスト1回目 Chapter 8 Reading the Passage
第6回	Chapter 8 Reading the Passage
第7回	Chapter 8 Reading and Vocabulary Comprehension
第8回	Chapter 9 Reading the Passage
第9回	Chapter 9 Reading the Passage
第10回	Chapter 9 Reading and Vocabulary Comprehension
第11回	e-learning 教材学習テスト2回目 Chapter 10 Reading the Passage
第12回	Chapter 10 Reading the Passage
第13回	Chapter 10 Reading and Vocabulary Comprehension
第14回	Chapter 11 Reading the Passage
第15回	Chapter 11 Reading the Passage
第16回	The Final Exam

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013029	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2M5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayashida72 wesleyan.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	0957-26-1234(代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜2限終了以降		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、能動的な学習方法を学び、英語の運用能力を向上させることを目的とします。様々な題材について多様な角度から意見を述べるため、ロールプレイやディスカッションを行います。また、メンバーと協働し説得力のあるプレゼンテーションを行う活動を通して、英語での発信力を鍛えます。		
授業到達目標/Course goals	この授業では次のことができるようになることを目標とします。 1. 自分の意見を様々な英語表現を用いて伝えることができる。 2. グループ活動により互いの意見を尊重しながら協働活動を行うことができる。 3. 英語による情報収集とその整理方法を理解し実践することができる。 4. 的確な構造と表現を用いた英語によるプレゼンテーションを行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%)+ プレゼンテーション1(15%)+ プレゼンテーション2(15%)+エッセー課題 (15%) +授業への姿勢 (提出物を含む) (15%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	会話活動で言えなかった表現を辞書などで調べる習慣をつけて下さい。興味のあるテーマに関して、英語での動画の視聴や雑誌や新聞に目を通し、様々な英語の音や表現に慣れ親しむようにしてください。 e-learning 自学自習 (合計30時間) プレゼンテーションのテーマに関して英語での情報を収集し、発表の準備を行う。(1時間以上/回)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	資料・教材は授業中に配布します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ペア・グループ活動 プレゼンテーション学習（チーム決め・役割分担）
第2回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング）、 プレゼンテーション学習（テーマの選定）
第3回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング） プレゼンテーション学習（情報の収集）
第4回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング） プレゼンテーション学習（アウトラインの作成2）
第5回	e-learning教材学習テスト1回目 グループ活動
第6回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング） プレゼンテーション学習（アウトラインの作成2）
第7回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング） プレゼンテーション学習（内容作成）
第8回	プレゼンテーション発表1
第9回	リスニング・リーディング・スピーキング活動 プレゼンテーション活動（チームを作る、テーマ2を決定する）
第10回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング） プレゼンテーション学習（情報の収集）
第11回	e-learning教材学習テスト2回目 プレゼンテーション学習（アウトラインの作成）
第12回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング） プレゼンテーション学習（内容作成1）
第13回	ペア・グループ活動（リスニング・リーディング・スピーキング） プレゼンテーション学習（内容作成2）
第14回	プレゼンテーション発表2
第15回	まとめと振り返り（プレゼンテーション予備日）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013030	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。) 注意:メールのマナー(ビジネスレター等)が守られている場合のみ、返信し、対応する。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」における学習成果を基に、高度なリスニング力とリーディング力を身につけるための勉強法を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	最終的な目標は、1)リスニングに対応できる語彙力・発音力のアップ、2)口語英語のスピード・イントネーション・リズム等に対応できるリスニング力・発音力の強化、3)長い英文をリスニングのスピードで読めるようになる、の3つであるが、本授業の到達目標は、受講者がこらら3つの目標を達成するための基礎的情報を得ることである。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	基本的に、e-learning教材学習テスト40%・課題30%・期末試験30%で総合的に評価するが、授業の進捗等により課題30%・期末試験30%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	1) e-learning自学自習:合計30時間 2) 課題:毎回2時間の課題が出される(ネット上のニュース等を見て、新しい単語や表現等を整理したり、内容に対して自分の意見をまとめる等)。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	課題は多いが、意欲的に取り組んで、英語の力をつけて欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業方針の説明・英語力診断テスト・授業関連アンケート
第2回	多聴読プログラム1 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙1・センテンスディクテーション&リピートイング1・母音に関する類似音の発音
第3回	多聴読プログラム2 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙2・センテンスディクテーション&リピートイング2・母音に関する類似音の識別
第4回	多聴読プログラム3 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙3・センテンスディクテーション&リピートイング3・子音に関する類似音の発音
第5回	e-learning教材学習テスト(1回目)多聴読プログラム4 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙4・センテンスディクテーション&リピートイング4・子音に関する類似音の識別
第6回	第1回&第5回の授業の振り返り(フィードバック)・音楽と英語学習の関係についての講義・音楽教材の収集と情報交換
第7回	聴読プログラム5 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙1・センテンスディクテーション&オーバーラッピング1・音楽の中の類似音1
第8回	多聴読プログラム6 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙2・センテンスディクテーション&オーバーラッピング2・音楽の中の類似音2
第9回	多聴読プログラム7 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙3・センテンスディクテーション&オーバーラッピング3・音楽の中の類似音3
第10回	多聴読プログラム8 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙4・センテンスディクテーション&オーバーラッピング4・音楽の中の類似音4
第11回	e-learning教材学習テスト(2回目) 聴読プログラム9 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙1・教養番組のリーディング1・センテンスディクテーション&シャドーイング1・音楽の中の連続音1
第12回	多聴読プログラム10 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙2・教養番組のリーディング2・センテンスディクテーション&シャドーイング2・音楽の中の連続音2
第13回	多聴読プログラム11 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙3・教養番組のリーディング3・センテンスディクテーション&シャドーイング3・音楽の中の連続音3
第14回	聴読プログラム12 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙4・教養番組のリーディング4・センテンスディクテーション&シャドーイング4・音楽の中の連続音4
第15回	第7回&第14回の授業の振り返り(フィードバック)・レポート作成上の留意点の確認
第16回	学期末試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/21		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013031	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2P1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部実験棟1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習として教材の予習及び課題(2時間/回)、事後学習として課題の見直し(1時間/回) e-learning自学自習(合計30時間)		
キーワード / Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書 / Materials	プリント教材		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕 / 高等学校英語教員としての実務経験 / 高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。 / 佐賀県立致遠館高等学校 佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明
第2回	Listening 1, プリント教材(1)
第3回	Listening 2, プリント教材(2)
第4回	Listening 3, プリント教材(3)
第5回	e-learning教材学習テスト(1)約30分程度, プリント教材(4)
第6回	Listening 4, プリント教材(5)
第7回	Listening 5, プリント教材(6)
第8回	DVD教材(1), プリント教材(7)
第9回	DVD教材(2), プリント教材(8)
第10回	Listening 6, プリント教材(9)
第11回	Listening 9, プリント教材(10)
第12回	e-learning教材学習テスト(2)約30分程度, プリント教材(11)
第13回	Listening 10, プリント教材(12)
第14回	Listening 11, プリント教材(13)
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/21		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013032	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2P2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumura_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス 共用校舎2 1階 (総合体育館裏)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	各unitのモデルプレゼンテーションを見て、聞いて、内容を理解し、自分のプレゼンテーションに役立てる。段階的に議論の進め方、英語表現について学習し、プレゼンテーションのスキルを学ぶ。自らの考え方をみつけてより広げる力、自らの考えを英語で発信する力を高める。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語コミュニケーション力を高め、プレゼンテーションの手法を学び、実践する力を身に着ける。</li> <li>2. 英語を「聞く・読む・書く・話す」技能を高める。</li> <li>3. Communication, Collaboration, Creativity, Critical thinkingそれぞれのスキルを養う。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</li> <li>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives</li> <li>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills</li> <li>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</li> <li>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</li> <li>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</li> </ol>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プレゼンテーション原稿提出5回 25% (5×5)</li> <li>2. Presentation 10%</li> <li>3. Lacs上の英語での意見交換 10% (2×5)</li> <li>4. e-learning 教材学習テスト 40% (20×2)</li> <li>5. 授業中の発表、取り組み 15%</li> </ol> 欠席はマイナス3点、遅刻はマイナス1点、6回以上欠席 (公欠を除く) 場合は単位修得できません。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-learning自学自習 (合計30時間)</li> <li>・ 予習: テキストを事前に読み、Dictationの問題を解く、プレゼンテーションの原稿作成と練習 (1.5時間/回)</li> <li>・ 復習: 学習したunitのプレゼンテーションの表現方法、スキルについて復習し、グループでのプレゼンテーションの反省点について検討し、再度練習をする (30分/回)</li> </ul>		
キーワード/Keywords	Presentation, English Communication, Creativity, Critical Thinking		
教科書・教材・参考書/Materials	Nobuyuki Honna, Yuko Takeshita, Anthony Allan (2019), This is My Presentation, 桐原書店		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	欠席はマイナス3点、遅刻はマイナス1点、6回以上欠席 (公欠を除く) 場合は単位修得できません。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 10/1	Orientation, Unit 1 Enjoy your presentation in English
2 10/8	1st presentations in groups & discussion
3 10/15	Unit 2 p.13, Unit 4 Talking about hobbies and interests
4 10/22	2nd presentations in groups & discussion
5 10/29	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 5 p.30-34, Unit 6 Your future plans
6 11/5	Unit 6 Your future plans, Unit 7 p.43, Unit 8 p.49
7 11/12	3rd presentations in groups & discussion
8 11/19	Unit 9 Expressing your opinion
9 11/26	Thinking about one of the news about medical matters
10 12/3	4th presentations in groups about one of the news about medical matters, Unit 11 p.67, Unit 12 p.73
11 12/10	Unit 13 Current Issues in Japanese society
12 12/17	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 13 Current Issues in Japanese society/ Preparation for the final presentation
13 1/7	Preparation for the final presentation/ Presentation in groups
14 1/12	Final presentations in front of classmates
15 1/21	Final presentations in front of classmates, Unit 14 p.85, Unit 15 p.91

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/21		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013033	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火2, 水5, 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	まず、授業時に任意で指定したニュース教材を、必要な情報を探しながら、英文をはやく正確に読む練習を行う。授業中に読んだ教材は、細部までの詳細な読みを課題として自宅で行い、翌週確認作業を行う。医療関係の問題を扱ったプリント教材は、授業時に指定した構文や表現は、必ず身に付けてもらう。		
授業到達目標/Course goals	1) 医療関係の話題をとりあげたCD教材を聞いて、必要な情報を聞き取り、使われた重要な表現をえるようになる。 2) 様々なテーマを扱った英字新聞の英文を読んで、必要な情報を見つけ、英文の内容を理解することができる。 3) 学習して教材を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。 4) 他のスピーカーのプレゼン内容へのコメントや意見交換ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験40%、 e-learning教材学習テスト40%、 プレゼンペーパー等の提出物10%、 授業でのアクティビティ、小テスト 10% で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 毎回課せられるプリント教材の精読。(1時間/回) 小テストのための学習。(1時間/回)		
キーワード / Keywords	Repeating, Pair Work, Listening Strategies, Scanning, Skimming		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書(テキスト): The Picture of Health 「健康と食品ニュースで読む現代社会」(南雲堂)1700円		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning教材（3 Step やパワーワード）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Reading（テキストUnit 1）
第2回	Power Words Unit 1～10 小テスト Reading（テキストUnit 1）
第3回	Reading（テキストUnit 2） Don't Just Sit There（1）
第4回	Power Words Unit 11～20 小テスト Reading（テキストUnit 3） Don't Just Sit There（1）
第5回	e-learning教材学習テスト1回目 Reading（テキストUnit 4）
第6回	Reading（テキストUnit 5） Don't Just Sit There（2）
第7回	Power Words Unit 21～30 小テスト Reading（テキストUnit 6） Don't Just Sit There（2）
第8回	Reading（テキストUnit 7） Don't Just Sit There（3）
第9回	Power Words Unit 31～40 小テスト Reading（テキストUnit 8） Don't Just Sit There（3）
第10回	Reading（テキストUnit 9） Don't Just Sit There（4）
第11回	Power Words Unit 41～50 小テスト Reading（テキストUnit 10） Don't Just Sit There（4）
第12回	e-learning教材学習テスト2回目 Reading（テキストUnit 11）
第13回	Reading（テキストUnit 12） Don't Just Sit There（5）
第14回	Reading（テキストUnit 13） Don't Just Sit There（5）
第15回	テキスト教材を用いたグループワーク、プレゼンテーション代表者コンテスト Don't Just Sit There 復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/21		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013034	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi_n-junshin.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本でも親しまれている英米の物語を読むことによって、文法力や語彙力を増やし、英文の読解力を強化することを目標とする。またCDを聞くことでリスニング力を付け、英文のリズムをつかむ。さらに本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景に触れながら生きた英語を味わっていく。本年度はシャーロック・ホームズ・シリーズの代表的な短編2編をテキストとして取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	英語の文法力や語彙力を増やし、重要な構文を把握しながら、長文の読解力を強化することができるようにする。CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への積極的な取り組み状況(発表とクイズ) 10% 定期試験 50% e-learning教材学習テスト 40% (1回目20% + 2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習(合計30時間) 毎回指定した範囲の和訳、問題演習を予習しておく。(1時間/回) 授業の復習として毎回出されるクイズをやっておく。(30分/回)		
キーワード / Keywords	リーディング、リスニング、英文法、語彙、構文把握、		
教科書・教材・参考書 / Materials	Mystery Tour with Sherlock Holmes (センゲージ ラーニング)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	あらかじめ指定された担当者は和訳を発表すること。担当者以外の学生も毎回和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks ( URL )	
学生へのメッセージ/Message for students	シャーロックホームズの短編の中でも特に人気のある物語を取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語学習への動機を高めてくれるでしょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか ( Y / N ) / Instructor(s) with practical experience ( Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 ( 日時 ) / Time ( date and time )	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション ( 授業の進め方、シャーロック・ホームズ・シリーズとその英語について、Warm-Up )
第2回	Unit1: The Red-Headed League, An Easy Job リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第3回	Unit2: The Red-Headed League, Mr. Wilson Is Put to a Test リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第4回	Unit3: The Red-Headed League, Job Suddenly Ends リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第5回	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit4: The Red-Headed League, Holmes Gathers Information リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第6回	Unit5: The Red-Headed League, Setting the Trap リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第7回	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (1) リーディング、問題演習、リスニング
第8回	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第9回	Unit7: The Adventure of the Copper Beeches, A Job with Strange Requirements リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第10回	Unit8: The Adventure of the Copper Beeches, The Work Begins リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第11回	Unit9: The Adventure of the Copper Beeches, A Strange Observer リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第12回	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 10: The Adventure of the Copper Beeches, Miss Hunter Looks Around リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第13回	Unit 11: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Holmes Has an Idea リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第14回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (1) リーディング、問題演習、リスニング
第15回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/21		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013035	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiuchi tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。		
授業到達目標/Course goals	英語のテレビ放送を視聴理解することができるようになり、またその内容を説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	全て主教材より 定期試験40%(単語理解6%、本文内容ディクテーション 14%(部分点あり)、内容理解15%、課題英作文 5%(部分点あり)) 平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出) e-learning 教材学習テスト40%(1回目 20% + 2回目 20%) e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	・ e-learning 自学自習(合計30時間) ・ 予習: 授業の範囲は学生のリクエスト通りになるので、リクエストのあった教科書の範囲に目を通し、事前に音源を聞いてくること(1時間/回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努めること(1時間/回)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	主教材: NHK NEWSLINE3(金星堂) 副教材: Campus Listening(成美堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	この講義では、DVD素材を利用して音読訓練を行います。タイムを指定して音読させるタイムアタック、テキストを後追いさせるオーバーラッピング、シャドウイングなど、学生の習熟度を診て判断します。
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	10/1 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認
第2回	10/8 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ
第3回	10/15 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ
第4回	10/22 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ
第5回	10/29 e-learning教材学習テスト第一回目 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ
第6回	11/5 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ
第7回	11/12 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ
第8回	11/19 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ
第9回	11/26 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ
第10回	12/3 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ
第11回	12/10 副教材 Unit 12、主教材 教科書継続、または新章へ
第12回	12/17 e-learning教材学習テスト第二回目 副教材 Unit 13、主教材 教科書継続、または新章へ
第13回	1/7 副教材 Unit 14、主教材 教科書継続、または新章へ
第14回	1/14 副教材 Unit 21、主教材 教科書継続、または新章へ
第15回	1/21 副教材 Unit 24、主教材 教科書終了
第16回	1/28 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/21		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013036	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L(英4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hamasaki_dai@campus.nias.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。) 欠席報告はメールではなく、後日届けを提出してください。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 詳細は授業にてお知らせいたします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるように。</li> <li>・それぞれのアカデミックエリアで必要とする語彙力がより高くなる。</li> <li>・高校レベルの英文法を整理し、より正確な自己表現が英語で出来るようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Class Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯の操作等はマイナス態度) e-learning教材学習テスト: 40% (1回目20%、2回目20%) Final Examination: 45%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 事前学習: 次の講義で進めるUnit内の単語やフレーズの確認、内容理解への挑戦(毎週学内と学外で2時間) 事後学習: 講義で学んだ新情報の復習、事前学習で理解できていなかった内容の確認(毎週学内と学外で2時間) 事前学習は自分が持っているスキルや知識の確認です。「知っていること」、「知らないこと」を仕分けしておき、講義で「知らないこと」を理解できるように準備すること。講義時間を有意義なものにするための準備が事前学習です。 事後学習においては、講義で新しく学んだキーワードや語句、文法をピックアップし、習得したといえるレベルになるまで学習を行うこと。		
キーワード / Keywords	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、読解力、先生離れへの助長		
教科書・教材・参考書 / Materials	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人のモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 無断欠席回数が1/3以上でClass Participationを0%と致します。 欠席報告(公欠)は後日、欠席届けを提出してください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	e-learning教材学習テスト詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。再履修を申し出る学生は、必ず1回目の講義を受講して下さい。授業の注意点や、e-learningに関する情報など、単位に関わる大切な情報をお伝えする重要な講義になっております。 授業開始2回目以降に再履修を申し出る学生は、1回目の講義を受けなかった理由を明確にお伝えください。理由によっては、再履修受け入れを拒否させていただく場合があります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月1日	Introduction 学期の授業進行、教科書、e-learning教材学習の解説、その他注意事項、教科書販売
第2回 10月8日	Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)
第3回 10月15日	Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)
第4回 10月22日	Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)
第5回 10月29日	e-learning 教材学習テスト 1回目 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)
第6回 11月5日	Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)
第7回 11月12日	Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2)
第8回 11月19日	Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)
第9回 11月26日	Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)
第10回 12月3日	Unit 9 The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy
第11回 12月10日	Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)
第12回 12月17日	e-learning 教材学習テスト 2回目 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2)
第13回 1月7日	Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan
第14回 1月14日	Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Steam Factory Nagasaki 1856
第15回 1月21日	Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Growth 1861-1865 学期の振り返りと学期末試験に関する質疑応答
第16回 1月28日	Final Examination

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/21		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013037	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2L(英5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etudiants_nagu yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人間の資質や生き方、世界の様々な事柄に関して書かれた優れた英文を熟読し、青年期にある学生の皆さんがこれから生きていくうえで大切な知恵や人生の指針について学ぶ。教養を高め、自己を磨く一助とする。また、ここで学んだ知識を将来の生き方に役立てられるよう、身に付ける。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来優秀な教育学士になられることはもとより、人として、学生の皆さんには重要かつ必要不可欠です。 英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。英文を「英語で」理解できるようになる。		
授業到達目標/Course goals	人間の優れた資質や生き方について関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、e-learning教材学習テスト 40%、小テスト 10%を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 毎回必ず英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。 ・予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) ・復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるように整理しておくこと。(1時間/回)		
キーワード / Keywords	リーディング・スキルの向上 / 人間の資質 / 生き方と人生 / 世界の様々な事象 / 心と人生を豊かに / 教養を高める		

教科書・教材・参考書/Materials	Living in a Global Community 『グローバル社会を生きる：道を拓く人々』（小林純子：朝日出版社） 英和辞典（電子辞書）を必携すること。 音声教材は、 <a href="http://text.asahipress.com/free/english">http://text.asahipress.com/free/english</a> にて、無料配信しています。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月1日	導入・授業内容の説明
第2回 10月8日	Unit 1 The Power of Photography
第3回 10月15日	Unit 2 Disaster Recovery Coordinators
第4回 10月22日	Unit 3 Taking Risks
第5回 10月29日	【e-learning 教材学習テスト 第1回目】 Unit 5 The Ups and Downs in the Restaurant Industry
第6回 11月5日	Unit 4 Trying for a Comeback
第7回 11月12日	Unit 6 Niche Market
第8回 11月19日	Unit 7 Example without Preaching (1)
第9回 11月26日	Unit 8 Example without Preaching (2)
第10回 12月3日	Unit 10 Leading a Steady Life
第11回 12月10日	Unit 11 White Lies ?
第12回 12月17日	【e-learning 教材学習テスト 第2回目】 Unit 9 Mediators
第13回 1月7日	Unit 12 Seeking the Blue Bird of Happiness
第14回 1月14日	Unit 14 Living his Faith
第15回 1月21日	Unit 15 The Challenges of the State of Oregon
第16回 2月4日	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/21		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200590013038	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L(英6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	アート、言語、食育、働き方改革、歴史遺産など、多岐にわたるテーマに触れ、それらについて「考える力」を鍛え、ディスカッション等を通して表現していく授業です。		
授業到達目標/Course goals	1. グローバルの視点から多様性を理解する態度・志向性を身につけることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考えること能力を身につけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認小テスト(2点×10=20点)+定期試験40点+e-learning教材学習テスト40点		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) <予習>教科書の該当範囲について事前に読んでおくこと(2h) <復習>講義内容および講義資料をもとに復習すること(2h)		
キーワード / Keywords	Art, Language, Food education, Work style, Heritage		
教科書・教材・参考書 / Materials	The World's Big Deals: Art, Language, Food Education, Work Style and Heritage (松柏社) 1,900円+税		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は必ず予習をして臨んで下さい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction
第2回	Chapter 1 What's the Difference Between Modern and Contemporary Art?
第3回	Chapter 1 内容理解確認小テスト Chapter 2 Jeff Koons And His Balloon Dogs
第4回	Chapter 2 内容理解確認小テスト Chapter 3 The Contemporaries: Many Sibande
第5回	e-learning 教材学習テスト1回目 Chapter 4 What Languages Are Spoken in the Philippines?
第6回	Chapter 4 内容理解確認小テスト Chapter 5 'Latinx' Explained: A History of the Controversial Word and How to Pronounce It
第7回	Chapter 5 内容理解確認小テスト Chapter 6 English Is the Language of Science. That Isn't Always a Good Thing
第8回	Chapter 6 内容理解確認小テスト Chapter 7 School Feeding Schemes Can Fill Children's Tummies and Farmers' Pockets
第9回	Chapter 7 内容理解確認小テスト Chapter 8 If You're Poor in America, You Can Be Both Overweight and Hungry
第10回	Chapter 8 内容理解確認小テスト Chapter 9 This Supermarket Sell Only Wasted Food
第11回	Chapter 9 内容理解確認小テスト Chapter 10 The Missing Women in Workforce Data
第12回	e-learning 教材学習テスト2回目 Chapter 11 Saudi Women Join the Workforce as Country Reforms
第13回	Chapter 11 内容理解確認小テスト Chapter 12 Migrant Workers in Thailand Live Harsh, But Improving, Reality
第14回	Chapter 12 内容理解確認小テスト Chapter 13 A Modern History of the Ogasawara Islands: Migration, Diversity, and War
第15回	Chapter 14 Reggae Officially Declared Global Cultural Treasure 総復習
第16回	定期試験